方丈

方丈は、元々は住職の住居でした。龍王殿とも呼ばれるこの建物には、宝石の冠をかぶった仏像が安置されています。

唐門の豪華さとは対照的に、シンプルで機能的な建築です。今日では、方丈は儀式の目的のために使用され、一般向けの座禅のワークショップも開かれています。訪問者は建物のベランダを散策できます。

方丈は総門と同じく、1940 年に京都の般舟三昧院から建長寺に移築されました。かつては般舟三昧院の本堂であり、一時は校舎としても使用されていました。